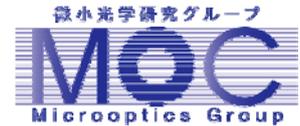


主催: 応用物理学会分科会 日本光学会 微小光学研究グループ
共催: 早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム(GCS)研究機構



第126回微小光学研究会

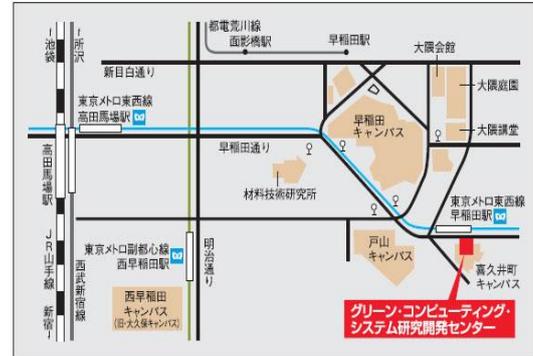
「微小光学の周期表 -元素を見直す-」

日時: 2012年12月7日(金) 10:10-17:00

会場: 早稲田大学 グリーン・コンピューティング・システム
(GCS)研究開発センター 1F コンファレンス・ルーム
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 27

<http://www.kikou.waseda.ac.jp/gcs/contact/index.html>

交通: 東京メトロ東西線早稲田駅 2番出口 徒歩1分



交通機関●東京メトロ東西線 早稲田駅2番出口 徒歩1分

特集のコンセプト:

- ・特有の元素を使うことによって得られる機能
- ・特有の元素を使わなくても同じ機能を出す
- ・意外性のある元素の使い方に着目・微小光学における元素応用のヒント・発想を得る。

プログラム

10:10-10:20	開会の挨拶	
10:20-11:00	【基調講演】微小光学から見た周期表	波多腰玄一(東芝)
11:00-11:30	Be系II-VI材料による光機能デバイスの開発	秋本良一(産総研)
11:30-12:00	白色LED用セラミック蛍光体	田部勢津久(京大)
12:00-13:20	<昼食休憩>	
13:20-14:00	【特別講演】シリコンフォトニクス の 現在・過去・未来	和田一実(東大)
14:00-14:30	グラフェンを用いたテラヘルツ波の発生とその応用 -グラフェン・テラヘルツレーザーの創出に向けて	尾辻泰一(東北大)
14:30-15:00	励起子増感を利用した化合物半導体太陽電池	堀越佳治(早大)
15:00-15:20	<休憩>	
15:20-15:50	希土類添加半導体発光デバイス	藤原康文(阪大)
15:50-16:20	光増幅のための希土類添加光ファイバー	大石泰文(豊田工大)
16:20-16:50	光を知って光らせる:希土類錯体薄膜の魅力	長谷川美貴(青学大)
16:50-17:00	閉会の挨拶	

- 当日配布:A3版「微小光学の周期表」
(研究会資料"Microoptics News"付録)
編集・制作: 微小光学研究グループ
監修: 伊賀健一
企画: 波多腰玄一



参加費: 一般 5,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む。当日ご持参ください)

参加申込: 不要 (直接会場にお越しください)

担当委員: 中島(早稲田大)、魚津(三菱レイヨン)、片山(福岡工大)、山本(大阪大)、森(コニカミノルタ)

問合せ先: コニカミノルタアドバンストレイヤー AF事業統括部 森 伸芳

Tel: 042-589-8211 Fax: 042-589-8015 E-mail: n.mori@konicaminolta.jp

微小光学研究グループ:

代表: 伊賀健一

副代表: 後藤顕也

運営委員長: 黒田和男

運営副委員長: 波多腰玄一

実行委員長: 中島啓幾

実行副委員長: 横森 清

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。